

1 調査名称：加古川市総合都市交通体系調査

2 調査主体：加古川市

3 調査圏域：加古川市域

4 調査期間：平成30年度～令和元年度

5 調査概要：

加古川市では兵庫県により策定された「都市計画道路網見直しガイドライン」（平成23年3月）（以下、「ガイドライン」という。）に基づき、長期未着手都市計画道路の廃止等見直しの検証を行い、順次廃止手続きを行っている。

一方、国においては、平成29年3月に播磨臨海地域道路の計画段階評価手続きに着手しており、今後、播磨臨海地域道路のルートが具体化されていく中、播磨臨海地域道路の影響を考慮した都市計画道路網の見直しが必要とされている。

本業務は、上記を受けて、播磨臨海地域道路有無別の都市計画道路配分を実施し、播磨臨海地域道路の影響を把握することによって、広域幹線道路ネットワークに対応した都市計画道路見直し検討を行うことを目的に実施するものである。

## I 調査概要

1 調査名称：播磨臨海地域道路に伴う都市計画道路網見直し検討業務委託

### 2 報告書目次

#### 第1章 業務の概要

1.1 業務の目的

1.2 業務の全体構成

#### 第2章 将来交通量配分の実施

2.1 交通量配分の概要

2.2 交通量配分的前提条件

(1) 配分対象ネットワークの設定

(2) ゾーニングの設定

(3) 分割指標の作成

(4) 配分対象 OD 表の作成

(5) 配分条件の設定

2.3 交通量配分手法

2.4 交通量配分結果

#### 第3章 見直し後の将来交通量配分の実施

3.1 交通量配分の概要

3.2 交通量配分結果的前提条件

3.3 交通量配分結果

3.4 STEP4 における都市計画道路網見直し検証結果

3 調査体制：該当なし

4 委員会名簿等：該当なし

## II 調査成果

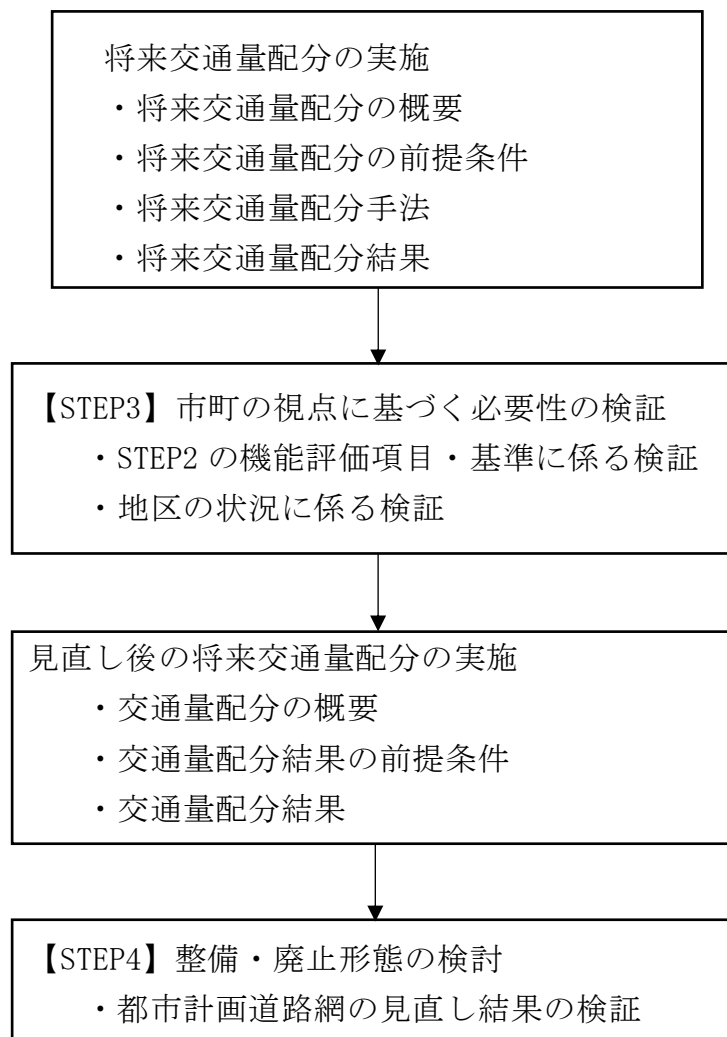
### 1 調査目的

本業務では、現在計画が進められている播磨臨海地域道路において、都市計画を定める区間（第二神明～広畑区間。播但連絡道路南伸部を含む。）による影響を考慮した都市計画道路網の見直しを行うため、ガイドラインのうち、兵庫県が実施するステップ1及び2の検証結果を踏まえて、ステップ3及びステップ4を実施する。

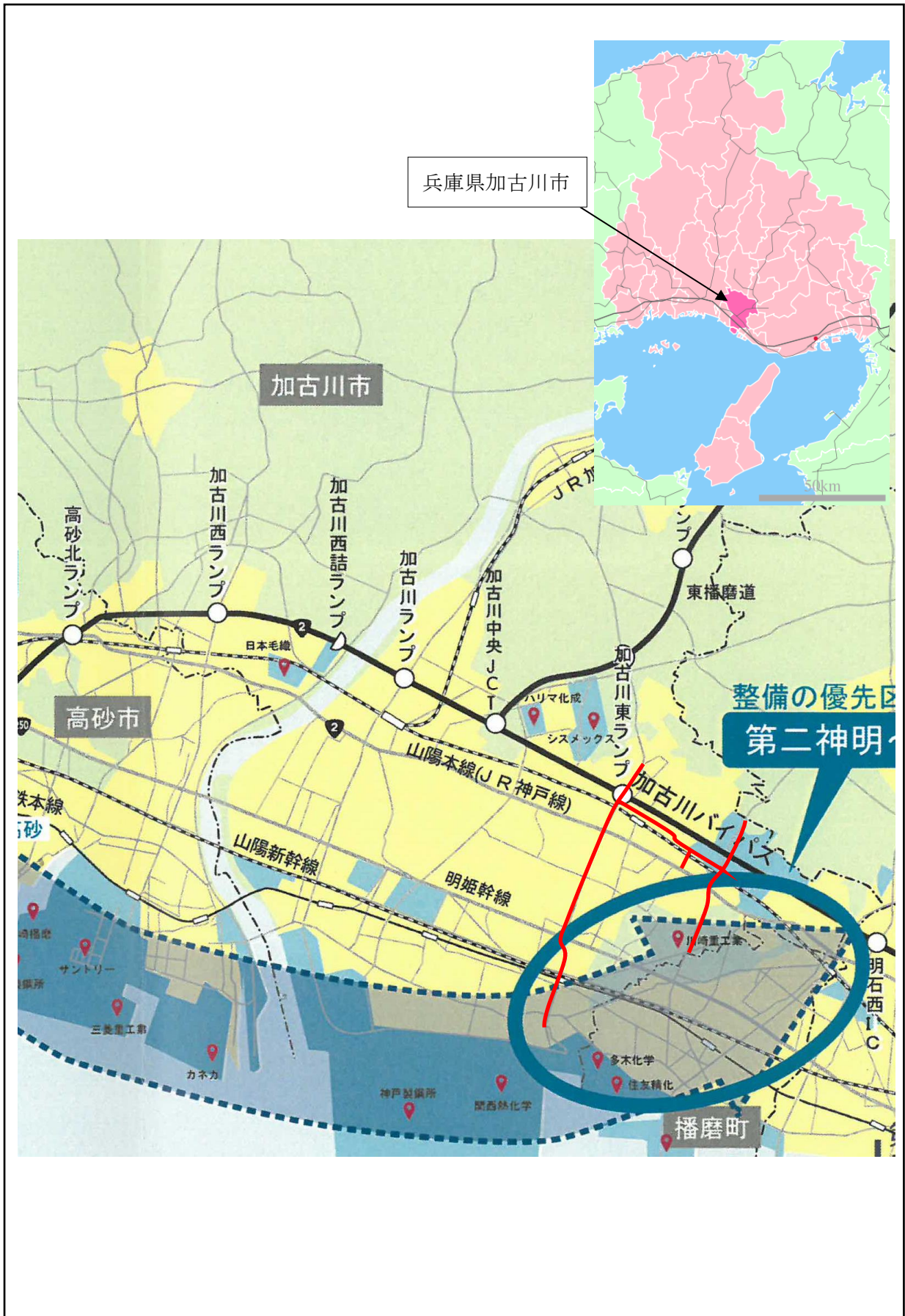
その上で必要となる、将来交通量配分を実施するものとする。

将来交通量配分は、最新の将来OD表（平成22年道路交通センサスベース平成42年将来OD表）を用いる。

### 2 調査フロー



3 調査圏域図

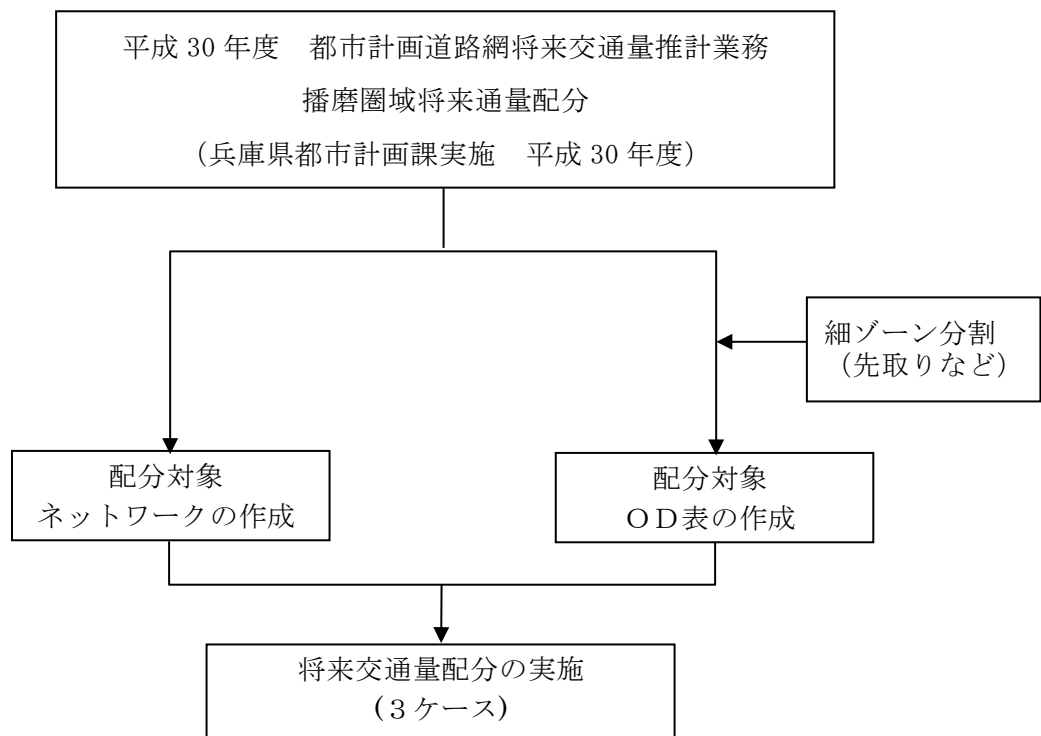


## 4 調査成果

### 4-1 将来交通量配分の実施

将来交通量配分については、図 4.1.1 に示す手順で実施した。

将来交通量配分は平成 30 年度に兵庫県都市計画課で実施した「播磨圏域将来交通量配分結果」を基本として、本市で必要と考える交通量の先取り等をおこなったうえで、再配分を行った。



#### < 将来交通量配分ケース >

配分ケース	ネットワーク条件
1	播磨臨海地域道路なし
2	播磨臨海地域道路あり (無料)
3	播磨臨海地域道路あり (有料)

図 4.1.1 将来交通量配分フロー

なお、交通量配分結果については、現在播磨臨海地域道路の計画において検討中である不確定なルート及び構造に基づく情報であり、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

#### 4-2 見直し後の将来交通量配分の実施

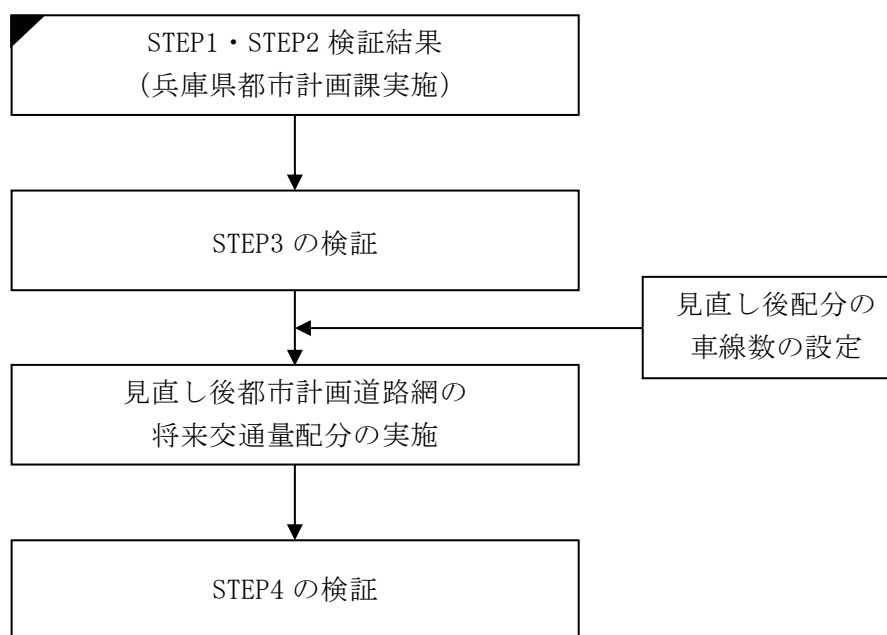
第2章「将来交通量配分の実施」の配分結果を受けて、都市計画道路網見直し後の将来交通量配分を実施した。

図4.2.1は見直し後都市計画道路網の将来交通量配分実施フローを示したものである。

まず、兵庫県都市計画課で実施している都市計画道路網見直し検討のうち、STEP1・2で検証した結果を受けて、別途STEP3の検証を実施した。この結果から「存続」「廃止」方針を示している。その後、将来交通量配分結果から推計された路線別交通量を基として「見直し後配分の車線数の設定」を検討した。

上記車線数の設定結果を交通量配分ネットワークに反映した上で、見直し後都市計画道路網の将来交通量配分を実施した。この将来交通量配分結果から、検討対象路線の整備方針を検討し、STEP4の検証結果を示した。

なお、都市計画道路の必要性の検証結果については、今後都市計画手続きの中で縦覧・審査する情報であり、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。



#### < 都市計画道路網見直し後の将来交通量配分ケース >

配分ケース	ネットワーク条件
1	播磨臨海地域道路あり（無料）
2	播磨臨海地域道路あり（有料）

図4.2.1 見直し後都市計画道路網の将来交通量配分実施フロー